

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○危機管理体制の構築
主な取組	特定家畜伝染病危機管理対策		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	<p>・様々な危機事象から県民の生命や財産を守るため、本県で新型コロナウイルス感染症や豚熱等が拡大した経験を踏まえ、想定される危機事象ごとに、対応する行動計画を時系列で整理した「タイムライン」の策定など、危機管理体制の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
特定家畜伝染病が発生した際に迅速かつ円滑な防疫対応を実施するため、関係機関の防疫実働演習を実施する。また、速やかな防疫対応を行うため、防疫資材を備蓄する。	県	特定家畜伝染病の発生に備えた防疫資材の備蓄		
		防疫資材の備蓄箇所数(内訳)		
		4箇所	4箇所(継続4箇所)	4箇所(継続4箇所)
担当部課【連絡先】	農林水産部畜産課	【 098-866-2269 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		家畜伝染病予防事業			予算事業名		家畜伝染病予防事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度		
各省計上	直接実施	210,696	292,959		主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容					各省計上	直接実施	221,420
計画通り、各家保4カ所に初動防疫資材を備蓄した。					令和5年度活動計画		
令和4年度活動内容					4カ所に備蓄した備蓄資材の管理および更新を行う。		
予算事業名		家畜衛生技術指導事業			予算事業名		家畜衛生技術指導事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額		R5年度		
各省計上	直接実施	79,954	8,575		主な財源	実施方法	当初予算額
令和4年度活動内容					各省計上	直接実施	10,716
管轄市町村や関係機関を参集し、防疫演習を石垣市、宮古島市、那覇市および名護市で各1回開催した。計画値4回に対し、実績値4回となった。					令和5年度活動計画		
令和4年度活動内容					防疫実働演習を八重山地域、本島北部地域、中南部地域および宮古地域で各1回行う。		
活動指標名	防疫資材の備蓄箇所数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	100.0%	順調	特定家畜伝染病の発生に備え、備蓄資材在庫状況調査を実施し、備蓄資材保管体制を整備した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和元年度は近接する東アジア地域では、依然として口蹄疫や新たにアフリカ豚熱などの特定家畜伝染病が連続発生している。県内では令和2年1月に豚熱が発生し、防疫措置・対策の実施により同年4月に収束した。また、令和4年12月に高病原性鳥インフルエンザが発生し、翌年1月に収束した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 防疫演習を継続して実施するとともに、関係機関や管轄市町村と連携し、防疫体制の構築を図る。 県ホームページ等を活用し、家畜衛生に関連する情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内において防疫演習を4回実施した。関係市町村や関係機関を招集した演習のみならず、防疫協定団体を交えての演習も行い、県内における防疫体制の構築を図った。 県ホームページ等を活用し、家畜衛生に関連する情報提供を実施した。また、家畜飼養者や生産者団体等のメールアドレスに直接情報提供する等、迅速な情報提供体制の構築を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	本県に近接するアジア諸国では、口蹄疫やアフリカ豚熱、高病原性鳥インフルエンザなどが断続的に発生している。県内への人およびモノの流入も増加していることから、侵入リスクは依然として高い状況にある。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	家畜伝染病予防法の改正により、家畜の飼養者については、これまで以上の防疫対策の強化が求められている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	有事の際に迅速な対応を行うため、防疫演習を継続して実施し、初動防疫対応に備える必要がある。
⑤ 情報発信等の強化・改善	農場における飼養衛生管理基準の遵守徹底を図るため、農場への立入を行っているが、さらなる遵守徹底を図るため、今後も継続して県ホームページ等を活用し、家畜衛生に関連する情報を提供する必要がある。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	危機管理体制の強化	施策	①危機事象に応じた危機管理体制の構築
			施策の小項目名	○県内企業の「事業継続計画」策定に向けた支援
主な取組	漁業地域BCP策定の支援		対応する成果指標	危機管理マニュアル等作成数
施策の方向	・自然災害や新型コロナウイルス感染症等のリスクが発生する中、事業の継続や早期復旧を目的とした「事業継続計画（BCP）」の策定については、国や商工会等の関係機関と連携し、県内企業の策定に向けた支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
災害発生時に水産物の生産・流通を早期に再開するため、水産物の流通拠点となる漁港で漁業地域BCP(事業継続計画)の策定に向けた支援を行う。	県漁協等	拠点漁港におけるBCP(事業継続計画)の策定支援			
		策定支援件数(内訳)			
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)	
担当部課【連絡先】	農林水産部漁港漁場課		【 098-866-2305 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
新型コロナウイルス感染症の緊急対応により未着手となった。				新型コロナウイルス感染症の緊急対応により未着手となる見込み。		

活動指標名	策定支援件数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	-件	1件	0.0%	未着手	新型コロナウイルス感染症への緊急対応に伴い、当初予定していた対応が困難となった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画値1地区に対し、新型コロナウイルス感染症への緊急対応により、進捗状況は未着手となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	-

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	未着手による遅れを取り戻すため、計画策定に係る作業内容の見直しを図るとともに、工程を改善する必要がある。	⑧ その他	関係者間で密な連携、調整を行う。